



市民協働によるまちづくり

「市民協働」とは、市民や町内会、NPO法人をはじめとする市民活動団体、事業者などの皆さんと市が、お互いの立場や特性、目的を認め合い、「みんな」で千歳を住みよいまちにするために協力することをいいます。

以前から行われている町内会活動などの市民活動団体の活動は、市民協働のひとつの取組であり、こうした活動が千歳の発展の原動力になっています。

市は、市民の皆さんと連携を深め、身近で取り組みやすい活動を事業化し、市民力を生かした「市民協働によるまちづくり」を目指しています。

さまざまな分野で進むモデル事業

市は、市民協働によるまちづくりをより積極的に進めるため、平成19年から「協働事業」制度を行っています。

この制度は、市内で活動する市民活動団体と市が連携して企画・実施するものです。市民活動団体がもつ知識や経験をまちづくりに生かすことや事業に実際に取り組むことで「市民協働」の考え方や実践方法の理解を深めることを目的としています。

市がこれまで行ってきた事業や新たな事業の市民活動団体との協働による取組が始まっており、これまでに10件の事業が「協働事業」として行われています。

小学校での英語学習

平成23年度から小学校5、6年生の外国語の学習活動が始まります。

市は、平成14年度から総合学習の一環として、各小学校に外国人の英語講師を派遣し英語学習を行っています。

このうち、4つの小学校では、市と英会話の知識や経験のある「千歳ボランティア通訳クラブ」が協働して英語学習を進めています。

「千歳ボランティア通訳クラブ」は、市内での通訳やセミナーなどを通して異文化に親しむ活動を行っています。



井上 美津子 さん

いのうえ みつこ/富丘
千歳ボランティア通訳クラブ理事

英語などの知識がある市民活動団体として、千歳の子どものための英語学習に貢献するために活動しています。会には英語以外の外国語に堪能な方や外国人がいるため幅広い知識があります。この知識を活用し、授業はゲームや英会話など体を使った英語に親しみやすい内容を中心に行っています。会員は子どもたちとのふれあいを楽しみにいきいきと活動しています。協働事業としてさまざまな会員が関わることで、子どもたちは英語に限らず広い視野で外国を学ぶことができ、国際理解を深めることができます。今後も、国際理解をより深めるさまざまな取組を進めたいと思います。



英語学習授業

これまでの通訳などの活動を通して培ってきた語学力を活用し、子どもたちに音声や基本的な表現を慣れ親しませながら英語の楽しさを伝えたいです。